薬剤情報

2025-12月　No.32

1．採用薬品情報（2025/12/1　薬事審議会）

1）新規採用薬剤

①アウィクリ注フレックスタッチ
薬価　700単位：¥3809

【薬効分類】週１回持効溶解型インスリンアナログ製剤
【効能・効果】
インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用法・用量】
通常、成人では、１週間に１回皮下注射する。初期は通常１回３０～１４０単位とし、患者の状態に応じて適宜増減する。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常１週間あたり３０～５６０単位である。但し、必要により前記用量を超えて使用することがある。

②ゼップバウンド皮下注
薬価　2.5mg：¥3,067　5mg：¥5,797　7.5mg：¥7,721　10mg：¥8,999　12.5mg：¥10,180
15mg：¥11,242

【薬効分類】肥満症治療剤
【効能・効果】
肥満症：ただし、高血圧、脂質異常症又は２型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、次に該当する場合に限る（ＢＭＩが２７ｋｇ／㎡以上であり、２つ以上の肥満に関連する健康障害を有する、ＢＭＩが３５ｋｇ／㎡以上）。
【用法・用量】
通常、成人には、チルゼパチドとして週１回２．５ｍｇから開始し、４週間の間隔で２．５ｍｇずつ増量し、週１回１０ｍｇを皮下注射する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週１回５ｍｇまで減量、又は４週間以上の間隔で２．５ｍｇずつ週１回１５ｍｇまで増量できる。

③ツイミーグ錠500mg
薬価　¥34.1

【薬効分類】糖尿病用剤
【効能・効果】
２型糖尿病。
【用法・用量】
通常、成人にはイメグリミン塩酸塩として１回１０００ｍｇを１日２回朝、夕に経口投与する。

④ヒューマログ注　100単位/mL
薬価　¥224

【薬効分類】インスリンリスプロ（遺伝子組換え）注射液
【効能・効果】
インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用法・用量】
通常、成人では１回２～２０単位を毎食直前に皮下注射するが、持続型インスリン製剤を併用したり、ときに投与回数を増やす。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては通常１日４～１００単位である。必要に応じ持続皮下注入ポンプを用いて投与する。

⑤ベルスピティ錠2mg
薬価　薬価　¥4,792.8

【薬効分類】スフィンゴシン1-リン酸受容体（S1P1,4,5）調節薬
【効能・効果】
中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）。
【用法・用量】
通常、成人にはエトラシモドとして２ｍｇを１日１回経口投与する。